

視覚障害者からの意見に基づく
県有施設等のバリアフリー整備の検証状況

視覚障害者からの意見に基づく県有施設等のバリアフリー整備の検証

実施方法(案)

※令和7年度第1回埼玉県福祉のまちづくり推進協議会において提示したもの

まずは、今後改修を予定しており、令和8年度に設計を行う県有施設をモデルに検証を行う。検証結果を踏まえ、令和9年度以降に設計予定の県有施設や、道路・公園等の検証を検討する。

① 視覚障害者団体等へのヒアリング

施設のどのような場所(屋内:トイレ、エレベーター等 屋外:誘導用ブロック、出入口等)で使いづらさを感じる人が多いかを確認

② モデル施設のピックアップ

使いづらさを感じる人が多い場所の改修を予定している県有施設をピックアップ

③ モデル施設での現場検証

視覚障害者団体等の会員・利用者にご協力いただき、使いづらさを感じることを中心にモデル施設での現場検証を実施

④ 検証結果の公表・周知

視覚障害者の意見を写真や図も活用しながら、県ホームページ等に分かりやすく掲載(施設名は出さず事例として掲載)するとともに、施設管理者には改修設計において意見を反映するよう依頼

改修後は意見の反映状況を確認し、反映された場合は好事例として県ホームページ等で紹介

① 視覚障害者団体等へのヒアリング

視覚障害者団体等へのヒアリング

モデル施設のピックアップ

モデル施設での現場検証

検証結果の公表・周知

協力団体

(公財)埼玉県視覚障害者福祉協会、埼玉視覚障害者の生活と権利を守る会、(特非)埼玉県盲人福祉協会

実施時期

令和7年12月

主なご意見(使いづらさを感じる場所)

通路・玄関	<ul style="list-style-type: none">歩道から受付まで、分かりやすい動線を確認し、誘導ブロックを敷設してほしい。玄関が分かるようにチャイムや音声を一定間隔で流してほしい。手すりには、各部屋やトイレの手前に点字案内をつけてほしい。
案内表示	<ul style="list-style-type: none">入口に点字や凹凸付きの触って分かる案内板か音声案内をつけてほしい。読みやすい字体、コントラストがはっきりした表示にしてほしい。
誘導ブロック	<ul style="list-style-type: none">ブロックの色や周りの路面の素材を選んで、ブロックと路面との境目を分かりやすくしてほしい。
階段	<ul style="list-style-type: none">段鼻に黄色のテープを貼ってコントラストをつけてほしい。昇り口と降り口の手前30cmに警告ブロックを敷設してほしい。
エレベーター	<ul style="list-style-type: none">階数ボタンの点字案内と音声案内をつけてほしい。
トイレ	<ul style="list-style-type: none">JIS規格の配置に統一してほしい。多機能トイレには音声案内をつけてほしい。洗浄ボタンよりレバーか自動洗浄がよい。洗浄ボタンは他のボタンと区別しやすくしてほしい。洗浄ボタンやトイレトーパーがありそうな場所に自動吐水の洗面を設けなくて欲しい。思わず手が濡れてしまう。
その他	<ul style="list-style-type: none">照明を明るくしてほしい。県民がよく使う施設には盲導犬用のトイレを設置してほしい。植え込みの一区画に案内表示してもらってほしい。

② モデル施設のピックアップ

視覚障害者団体等へのヒアリング

モデル施設のピックアップ

モデル施設での現場検証

検証結果の公表・周知

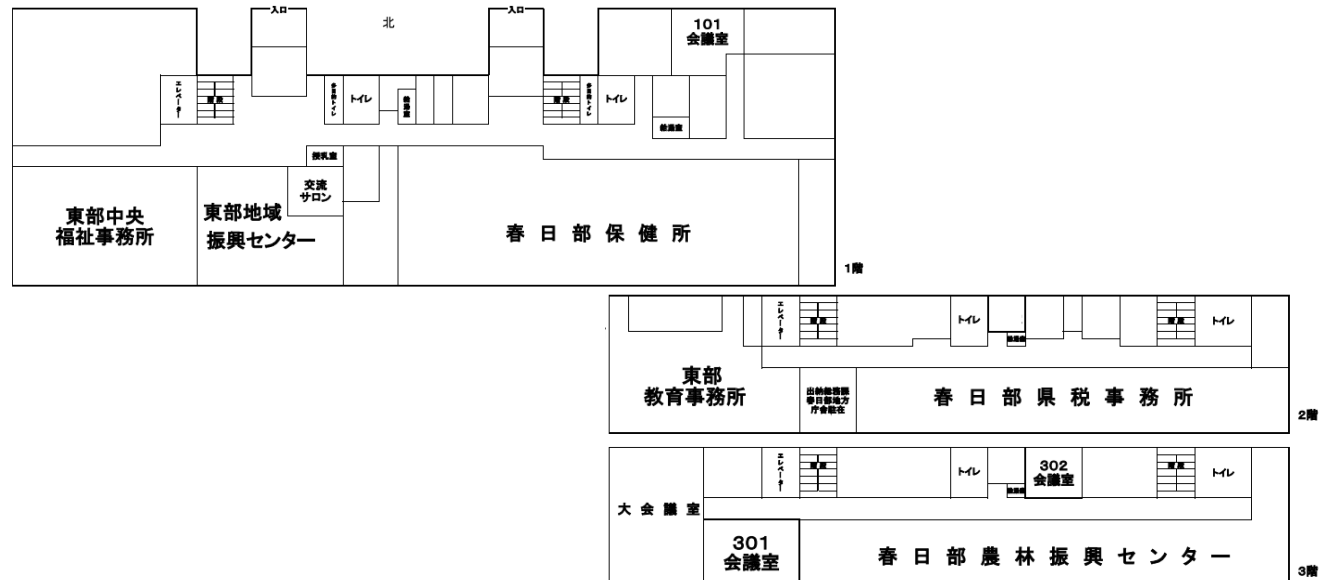
選定施設

春日部地方庁舎 春日部市大沼1丁目76番地(春日部駅西口から徒歩20分・バス5分)

選定理由

- 令和8年度中に設計を行う予定はないものの、築年数が経過しており、今後の大規模改修が見込まれる。
- 3階建て5,000㎡程度の比較的大きな施設であり、階段、エレベーター、多目的トイレ、歩道からの誘導ブロックなど、ヒアリングで指摘のあった場所を有している。
- 福祉事務所、保健所、県税事務所など複数の県地域機関が入っており、視覚障害者の来所が見込まれる。

施設概要



③ モデル施設での現場検証(1/2)

視覚障害者団体等へのヒアリング

モデル施設のピックアップ

モデル施設での現場検証

検証結果の公表・周知

実施日時

令和8年2月24日(火)10:00~11:30

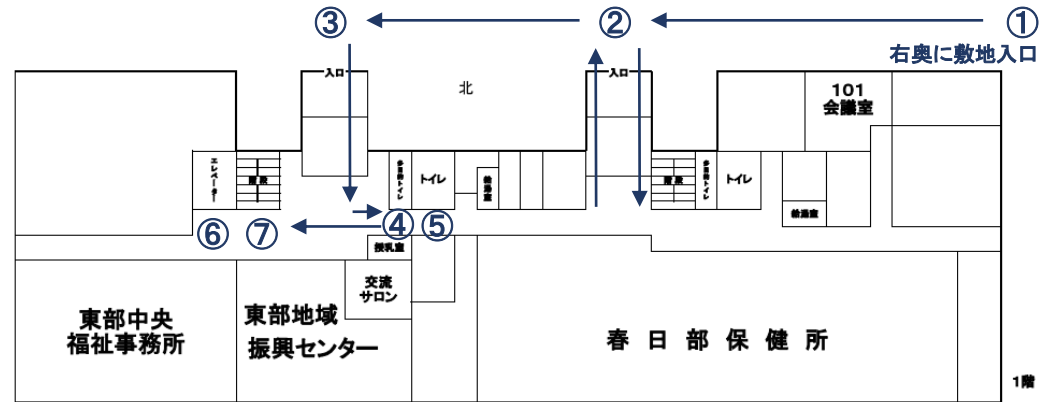
参加者

- 埼玉視覚障害者の生活と権利を守る会 会員2名(全盲1名、弱視1名)、ガイドヘルパー1名
- 県関係課所 職員6名(施設管理部署3名、施設整備部署3名)
- 福祉政策課 職員2名

※ヒアリングを実施した他の2団体は日程の都合がつかず不参加。

実施内容

- (1) 検証の趣旨・流れの説明(15分)
- (2) 施設内を移動しながら各場所のバリアフリー整備を確認(45分)
 - ①敷地入口→②東側玄関→③西側玄関→④多目的トイレ→⑤一般トイレ→⑥エレベーター→⑦階段
- (3) 振り返り・意見交換(30分)



③ モデル施設での現場検証(2/2)

視覚障害者団体等へのヒアリング

モデル施設のピックアップ

モデル施設での現場検証

検証結果の公表・周知

実施結果(視覚障害者からの主な意見)

玄関



- 玄関前であることが分かるよう、警告ブロックは1枚ではなく、T字・L字に敷くとよい。

多目的トイレ



- 各種ボタンがJIS規格の配置だとよい。
- 洗浄ボタンと緊急呼び出しボタンは離れていた方がよい。
- 自動吐水の手洗いは、意図せず反応して衣服が濡れてしまうので、便器から離れたところに設置してほしい。

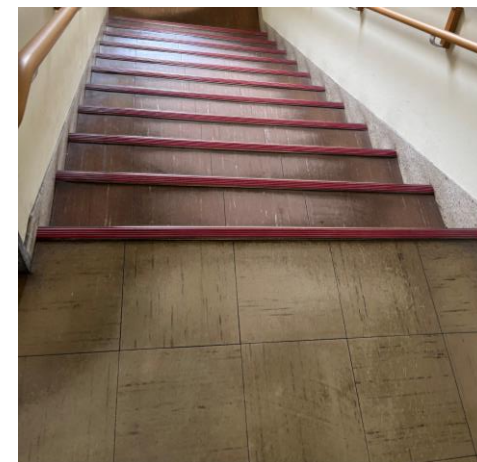
案内表示

- 凹凸や点字案内をつけてほしい。音声案内があるとなおよい。
- 案内版まで誘導ブロックを敷くとよい。



階段

- 昇り口と降り口の30cm手前に警告ブロックを敷くとよい。
- 始まりと終わりの段だけでもよいので、段鼻に端から端まで黄色のテープを貼るとよい。
- 手すりに現在階の展示案内をつけてほしい。



エレベーター

- 点字案内、音声ともにあるので問題ない。

④ 検証結果の公表・周知

視覚障害者団体等へのヒアリング

モデル施設のピックアップ

モデル施設での現場検証

検証結果の公表・周知

今後の予定

- 視覚障害者の意見を写真や図も活用しながら、県ホームページ等に分かりやすく掲載する。
- 施設管理者に対しては、今後見込まれる改修において、視覚障害者の意見を設計に反映するよう依頼する。
- 改修が計画された後は、設計や完成などの各段階で視覚障害者の意見の反映状況を確認する機会を設ける。

当事者参画事例としての展開

- 春日部地方庁舎において、車椅子利用者などによる検証も実施し、当事者間で相対する意見への対応などについて検討する。
- 当事者参画の事例として、県有施設整備における当事者参画の進め方の整理に生かす。